

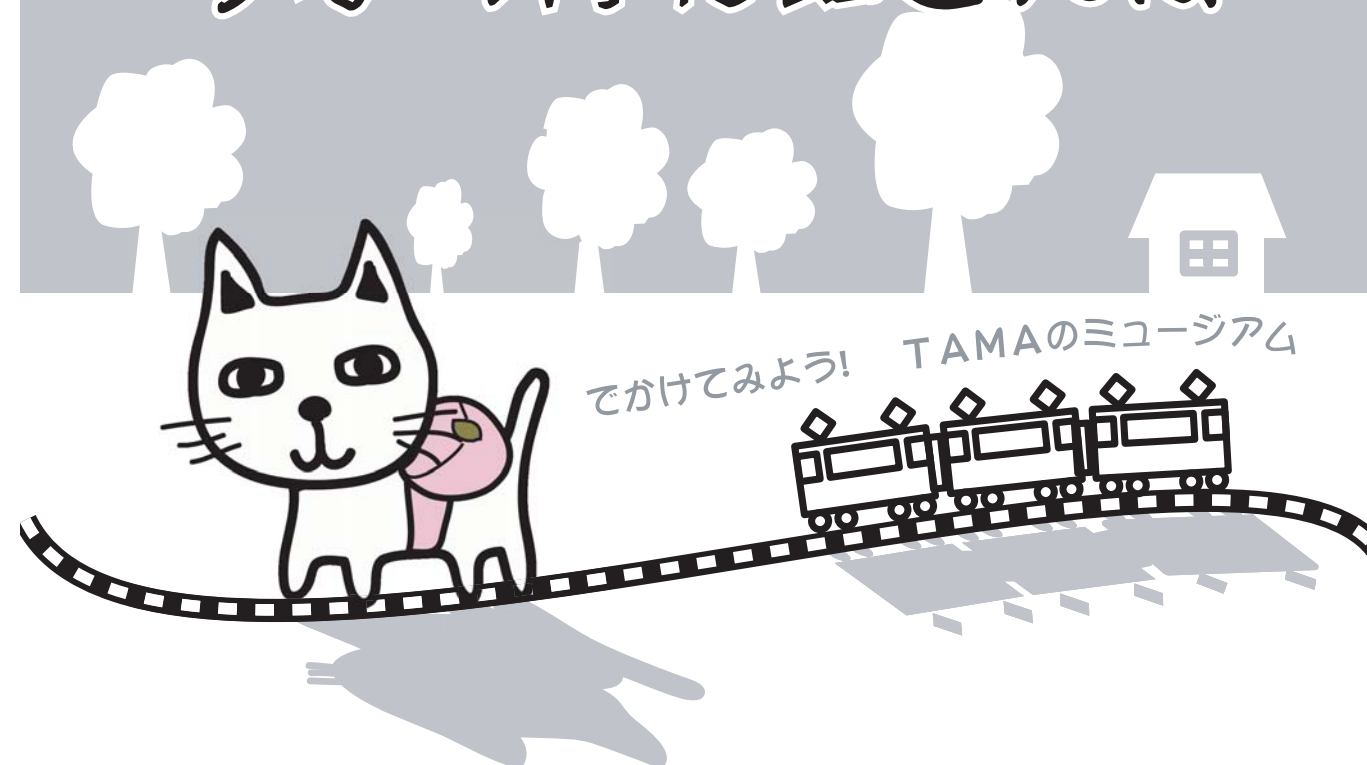
三多摩公立博物館協議会加盟館一覽

№	館名	住所	電話	交通
1	奥多摩水と緑のふれあい館	〒198-0223 東京都西多摩郡奥多摩町原5	0428-86-2731	JR青梅線「奥多摩駅」から小河内方面行きバス「奥多摩湖」下車
2	檜原村郷土資料館	〒190-0211 東京都西多摩郡檜原村3221	042-598-0880	JR五日市線「武蔵五日市駅」から藤倉行きバス「郷土資料館」下車
3	たましん御岳美術館	〒198-0173 東京都青梅市御岳本町1-1	0428-78-8814	JR青梅線「御嶽駅」下車徒歩20分
4	青梅市郷土博物館	〒198-0053 東京都青梅市駒木町1-684	0428-23-6859	JR青梅線「青梅駅」下車徒歩12分
5	あきる野市五日市郷土館	〒190-0164 東京都あきる野市五日市920-1	042-596-4069	JR五日市線「武蔵五日市駅」下車徒歩17分
6	羽村市郷土博物館	〒205-0012 東京都羽村市羽741	042-558-2561	①JR青梅線「羽村駅」西口下車徒歩20分 ②東口コミュニティバスはむらん羽村西コース「郷土博物館」下車
7	八王子市子ども科学館 (サイエンスドーム八王子)	〒192-0062 八王子市大横町9-13	042-624-3311	JR中央線八王子駅、または京王線「京王八王子駅」からバス「サイエンスドーム」下車、徒歩2分。
8	八王子市郷土資料館	〒192-0902 東京都八王子市上野町33	042-622-8939	①JR中央線「八王子駅」南口から徒歩15分 ②JR中央線「八王子駅」南口からバス「東京家政学院」行き、「上野町三丁目」下車徒歩3分
9	集合住宅歴史館(独立行政法人都市再生機構 技術研究所)	〒192-0032 東京都八王子市石川町2683-3	042-644-3751	①JR八高線「北八王子駅」下車徒歩10分 ②JR八王子駅より大和田、東海大学病院経由宇津木台行「ケンウッド前」下車徒歩5分
10	福生市郷土資料室	〒197-0003 東京都福生市熊川850-1	042-530-1120	JR青梅線「牛浜駅」東口下車徒歩7分
11	瑞穂町郷土資料館	〒190-1211 東京都西多摩郡瑞穂町石畑1962	042-568-0634	JR八高線「箱根ヶ崎駅」下車徒歩18分
12	武蔵村山市立歴史民俗資料館	〒208-0004 東京都武蔵村山市本町5-21-1	042-560-6620	多摩モノレール「上北台駅」から武蔵村山市内循環バス三ツ木地区会館行き「かたくりの湯」下車徒歩1分
13	立川市歴史民俗資料館	〒190-0013 東京都立川市富士見町3-12-34	042-525-0860	JR立川線「南口」から新道福島行き・富士見町操車場行きバス「団地西」下車徒歩5分
14	日野市郷土資料館	〒191-0042 東京都日野市程久保550	042-592-0981	①多摩都市モノレール・京王線「高幡不動駅」から百草団地方面バス「高幡台団地」下車徒歩5分 ②モノレール「程久保」下車徒歩7分
15	首都大学東京91年館	〒192-0397 東京都八王子市南大沢1-1	042-677-1111	京王相模原線「南大沢駅」下車徒歩約5分
16	東大和市立郷土博物館	〒207-0031 東京都東大和市奈良橋1-260-2	042-567-4800	西武拝島線「東大和市駅」から西武バス「イオンモール」行または都営バス「青梅車庫」行で「八幡神社」下車 徒歩2分
17	東村山ふるさと歴史館	〒189-0021 東京都東村山市諏訪町1-6-3	042-396-3800	西武新宿・国分寺線「東村山駅」西口下車徒歩8分
18	国立ハンセン病資料館	〒189-0002 東京都東村山市青葉町4-1-13	042-396-2909	西武池袋線 清瀬駅南口から西武バス 久米川駅行き・所沢駅行きで約10分(「ハンセン病資料館」で下車)
19	くにたち郷土文化館	〒186-0011 東京都国立市谷保6231	042-576-0211	JR南武線「矢川駅」下車徒歩8分
20	たましん歴史・美術館	〒186-8686 東京都国立市中1-9-52	042-574-1360	JR中央線「国立駅」南口前
21	パルテノン多摩 歴史ミュージアム	〒206-0033 東京都多摩市落合2-35	042-375-1414	京王相模原線・小田急多摩線・多摩モノレール「多摩センター駅」下車徒歩5分
22	東京都埋蔵文化財センター	〒206-0033 東京都多摩市落合1-14-2	042-373-5296	京王相模原線・小田急多摩線・多摩モノレール「多摩センター駅」下車徒歩5分
23	町田市立博物館	〒194-0032 東京都町田市本町田3562	042-726-1531	小田急線・JR横浜線「町田駅」から藤の台団地行きバス「市立博物館前」下車徒歩7分
24	府中市郷土の森博物館	〒183-0026 東京都府中市南町6-32	042-368-7921	京王線・JR南武線「分倍河原駅」から京王バス郷土の森総合体育館行きバス「郷土の森正門前」下車
25	小金井市文化財センター	〒184-0003 東京都小金井市緑町3-2-37	042-383-1198	JR中央線「武蔵小金井駅」北口からココバス北東部循環③「小金井公園入口」下車 徒歩5分
26	江戸東京たてもの園	〒184-0005 東京都小金井市桜町3-7-1	042-388-3300	JR中央線「武蔵小金井駅」北口からバス7分「小金井公園西口」下車
27	東京農工大学科学博物館	〒184-8588 東京都小金井市中町2-24-16	042-388-7163	JR中央線「東小金井駅」南口下車徒歩9分
28	清瀬市郷土博物館	〒204-0013 東京都清瀬市上清戸2-6-41	042-493-8585	①西武池袋線「清瀬駅」北口下車徒歩10分 ②駅北口バス乗り場1番から西武バス「郷土博物館入口」下車徒歩1分
29	多摩六都科学館	〒188-0014 東京都西東京市芝久保町5-10-64	042-469-6100	①西武新宿線「花小金井駅」北口下車徒歩18分 ②西武新宿線「田無駅」北口よりはなバス多摩六都科学館行き
30	調布市郷土博物館	〒182-0026 東京都調布市小島町3-26-2	042-481-7656	京王相模原線「京王多摩川駅」下車徒歩4分
31	国立天文台天文機器資料館	〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1	0422-34-3600	中央線武蔵境駅南口から小田急バス「狛江駅行き」天文台前下車、京王線調布駅北口から小田急バス「武蔵境駅南口行き」天文台前下車

催し物案内2013年度春・夏号

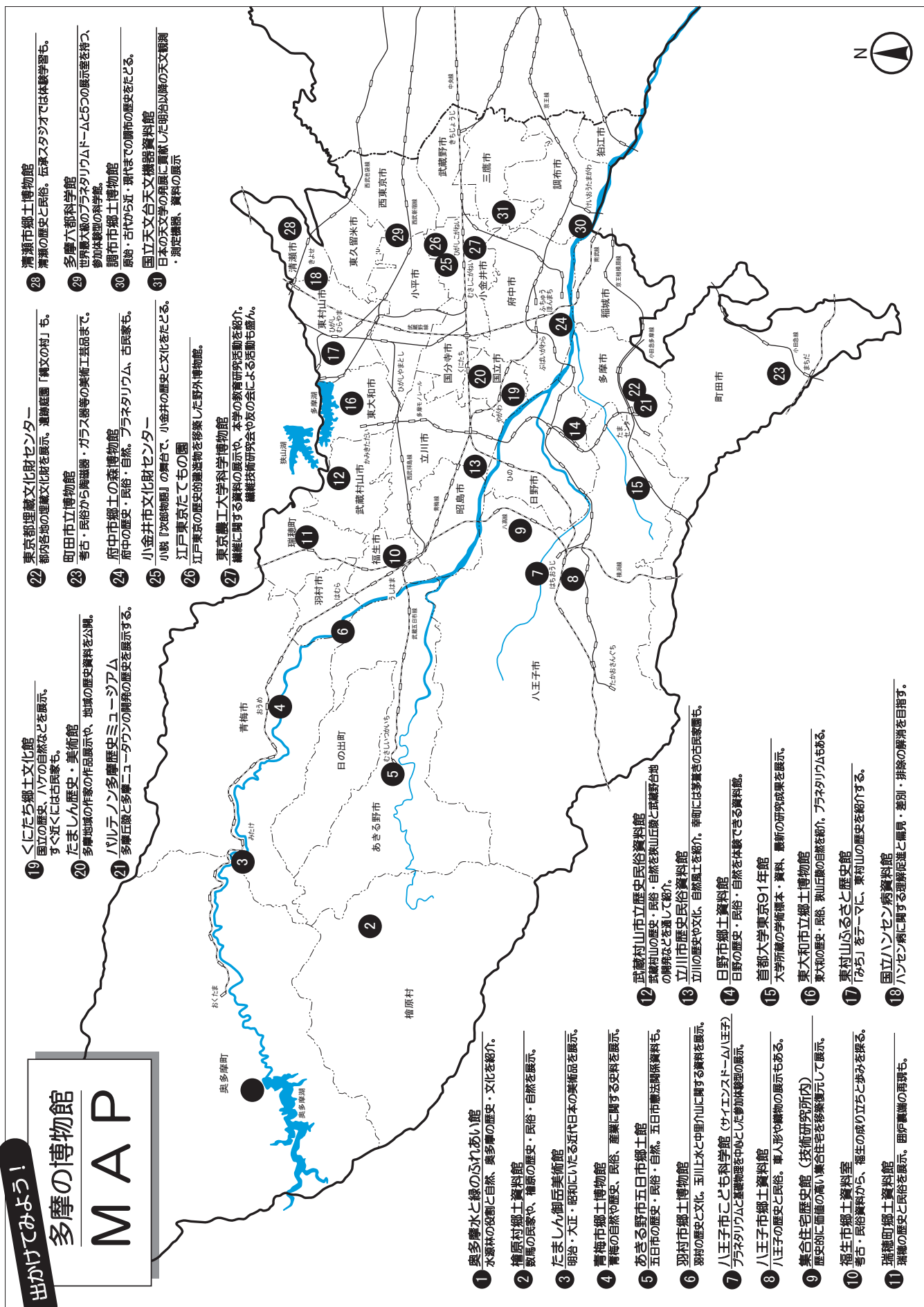
2013年4月～9月

多摩の博物館さんぽ



東京都三多摩公立博物館協会公式サイト「多摩の博物館に行こう」(<http://tamahaku.jp>)では、随時新しい情報を公開しています。

お出かけの際は、「多摩の博物館さんぽ」と合わせて、気になる展示やイベント情報をチェックしてください!



この地図は、三多摩公立博物館協議会加盟館のみを掲載したものです。

27 東京農工大学科学博物館 (042-388-7163)
 繊維に関する資料の展示や、本学の教育研究活動を紹介。繊維技術研究会や友の会による活動も盛ん。

開館時間	10:00～17:00(入館は16:00まで)	休館日	日曜・月曜・祝日、5月31日(創立記念日)等	入館料	常設展無料
------	-------------------------	-----	------------------------	-----	-------

- 特別展「シルクロードからの贈りもの—ウズベキスタンにおける養蚕技術交流—」(3.16～4.13)
- 企画展「光の実力展(仮)」(6月～9月)
- ミニ企画展「コンピューター・コレクション(仮)」(7月～9月)
- 子供科学教室(6月～9月 毎月1回(予定))
- 繊維技術研究会講演会(毎月第二火曜日) ●友の会サークル講習会(日程未定)
- Facebook、Twitter 公式ページ開設 ※ 日程などの詳細は本館ホームページにてお知らせします。

【URL】 <http://www.tuat.ac.jp/~museum/>

28 清瀬市郷土博物館 (042-493-8585)
 清瀬の歴史と民俗。伝承スタジオでは体験学習も。

開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日)	入館料	無料
------	------------	-----	---------------	-----	----

12.29～1.3

- 常設展「農家の四季～武蔵野台地に生きる～」(4.2～)
- 平成25年4月より民俗展示室をリニューアルしました。武蔵野台地の土壌や気候に順応した知恵を生かしてきた往時の人々の暮らしを、農具や日常生活で使われた道具などの展示を通して紹介します。
- 企画展「染める・織る・縫う」(7.10～15)
- 当館の「衣」をテーマにした染物、はたおり、和裁教室の参加者と講師等の作品を紹介します。

【URL】 <http://www.city.kiyose.lg.jp/>

29 多摩六都科学館 (042-469-6100)
 《緑と生活の調和》を実現する科学・技術を紹介する生涯学習施設。

開館時間	9:30～17:00(入館は16:00まで)	休館日	月曜日(祝休日の場合は開館し翌日)、祝日の翌日、年末年始(12.28～1.3)、保守点検等の臨時休館日あり	入館料	大人500円、小人200円(4歳～高校生) プラネタリウム、大型映像は別料金
------	------------------------	-----	---	-----	--

7/20～8/31は9:30～17:30(入館は16:30まで)

- 体験型展示で人気の展示室がリニューアルオープン! 実験、観察、工作ができる「ラボ」、企業や地域との連携の場「つながるスポット」、幼児から楽しめる「キッズコーナー」などが充実。「科学すること」の面白さを体験してください。
- ゴールデンウィーク特別イベント「ロクト・ロボットパーク2013」(4.27～5.6)
- 夏の特別企画展「ロクト大昆虫展2013(仮称)」(7.20～9.1)(予定)
- 昨年7月にリニューアルオープンしたプラネタリウムは、1億4000万個の星を投影できるLED光源の光学式投影機と、4K高精細プロジェクター4台を組み合わせたハイブリッドプラネタリウム。「最も先進的」として世界一に認定されました。直径27.5mの巨大なドームに投影される満天の星と迫力あふれる大型映像をお楽しみください。

【URL】 <http://www.tamarokuto.or.jp>

30 調布市郷土博物館 (042-481-7656)
 原始古代から近代までの調布の歴史をたどる。

開館時間	9:00～16:00	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日)	入館料	無料
------	------------	-----	---------------	-----	----

12.29～1.3

- 「地図でたどる調布・小さな旅」(4.6～6.30)
- 郷土博物館が収集してきたさまざまな地図や絵葉書等を展示し、近代調布の歩みを紹介します。
- 「加藤文成郷土玩具コレクション展」(仮題)(7.27～9.16)
- スポーツ祭東京2013の普及啓発事業として調布市で開催予定の「だるま展」に連携する形で、日本各地のだるま及び郷土玩具を展示し、郷土玩具に込められた人びとの願いや祈りを紹介します。

【URL】 <http://www.city.chofu.tokyo.jp/www/contents/1176118850606/index.html>

31 国立天文台天文機器資料館 (0422-34-3600)
 日本の天文学の発展に貢献した明治以降の天文観測・測定機器、資料の展示。

開館時間	10:00～17:00	休館日	年末年始(12.28～1.4)	入館料	無料
------	-------------	-----	-----------------	-----	----

- 国立天文台は常時一般公開を行っており、毎日10時～17時の間、自由に見学できます。この他に、第1火曜日、第2日曜日に「登録有形文化財コース」、第3火曜に、第4日曜日に「重要文化財・測地学関連遺跡めぐりコース」のガイドツアーを行っています。このツアーは申込み制で定員20人、13時30分正門集合です。

【URL】 http://www.nao.ac.jp/about/mtk/visit/shisetsu_koukai.html

22	東京都埋蔵文化財センター（042-373-5296） 都内各地の埋蔵文化財を展示。遺跡公園「縄文の村」も。				
開館時間	9:30～17:00	休館日	年中無休	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> ●縄文ワクワク体験祭り（5.3・4） ●縄文の村自然観察会（①4.6、②10.19） ●縄文アクセサリー教室（①②6.22、③7.31、④⑤8.10） ●古代糸作り教室（6.30） ●親子縄文土器作り教室（7.20・21） ●トンボ玉作り教室（7.13、9.14） ●親子火おこし体験（8.3） ●縄文土器作り教室（5.18・19） <p style="text-align: right;">【URL】 http://www.tef.or.jp/maibun/</p>					

23	町田市立博物館（042-726-1531） 考古・民俗から陶磁器・ガラス器等の美術工芸品まで。				
開館時間	9:00～16:30	休館日	月曜日（祝日の場合開館、翌日休館）、展示替期間、資料整理期間、館内整理期間（5.20～7.19）	入館料	企画により異なります ※中学生以下無料、障がい者半額
<ul style="list-style-type: none"> ●「忠生遺跡」(3.16～5.19) 過去2回の『忠生遺跡展』出品物に加え、その後の調査で出土した新資料も一堂に会し、総合的な忠生遺跡の姿を初めてご覧いただけます。 ●「舛田コレクションーヴェトナム陶磁の二千年」(7.20～9.1、9.7～10.14)《予定》 紀元前後から18世紀ごろまでのベトナム古陶磁及び関連のベトナム出土中国陶磁あわせて約400点を展示。 <p style="text-align: right;">【URL】 http://www.city.machida.tokyo.jp/</p>					

24	府中市郷土の森博物館（042-368-7921） 府中市の歴史・民俗・自然。プラネタリウム、古民家も。				
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日（祝日の場合は翌日） 12.29～1.3、年末年始	入館料	大人200円 4歳～中学生100円
<ul style="list-style-type: none"> ●企画展「大西浩次風景写真展—天・空の記—」(4.20～9.1) 大西浩次氏が撮影した、星の風景写真展の第2弾。地上や空、そして天の動きに目をこらし、耳を傾け、その瞬間をとらえた貴重な写真を約20点展示します。 ●特別展「あしもとネイチャーワールド」(7.20～9.1) 身近な自然を取り上げ、紹介します。 ●「郷土の森あじさいまつり」(6.8～7.7) 園内に咲き乱れるあじさいの花をお楽しみください。 <p style="text-align: right;">【URL】 http://www.fuchu-cpf.or.jp/museum/index.html</p>					

25	小金井市文化財センター（042-383-1198） 小説『次郎物語』の舞台で、小金井の歴史と文化をたどる。				
開館時間	9:00～16:30	休館日	月曜日（祝日の場合は翌日） 12.29～1.3 館内整備のための臨時休館日	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> ●当館は作家下村湖人が青年団講習所の所長として講習生と語り、小説『次郎物語』の構想を練った浴恩館を改修して資料館としたものです。市内の考古資料・古文書・民具をもとに、小金井市のあゆみや生活について常設展示しています。 ●季節展「小金井桜展」(4.2～5.6) <p style="text-align: right;">【URL】 http://tamahaku.jp/kojin/</p>					

26	江戸東京たてもの園（042-388-3300） 江戸東京の歴史的建造物を移築した野外博物館。				
開館時間	9:00～17:30（入園は17:00まで）	休館日	月曜日（祝日の場合は翌日） 年末年始	入館料	大人400円、中（都外）高生200円 大学生320円、65才以上の方200円 小中（都内）無料
<ul style="list-style-type: none"> ●開園20周年記念特別展「たてもの園と建築家たち」展（～5.6）、開園20周年記念特別展「大奥女中とゆかりの寺院」展（5.18～7.8）、開館20周年記念「武蔵野の歴史と考古学—江戸東京たてもの園収蔵品展—」展（7.20～2014.3.2） ●子どもの日イベント（5.4・5）、小暑のつどい（7.6・7）下町夕涼み（8.3・4）、ミュージアムトーク（4.27、5.25、6.22、7.27、8.24、9.21）、伝統工芸の実演（4.13・14、5.11・12、6.8・9、7.6・7、8.10・11、9.7・8） <p style="text-align: right;">【URL】 http://www.tatemonoen.jp/</p>					

1	奥多摩水と緑のふれあい館（0428-86-2731） 水源林の役割と自然、奥多摩の歴史・文化を紹介。				
開館時間	9:30～17:00	休館日	水曜日（祝日の場合は翌日） 12.28～1.4	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> ●奥多摩の豊かな自然とダムの仕組みや水の大切さなどを紹介し、東京都の水源地である奥多摩町と水道を利用する都市住民とのふれあいの場として、奥多摩町の歴史・文化・郷土芸能・地場産業等の紹介及び展示を映像等で分かりやすく紹介している。 ●春の奥多摩ミニコンサート（4.20・4.21）ソプラノ・ギター・ハーブによる共演 出演 ソプラノ・長谷川友代 他、正午から2回公演 2日間延べ4回 ●水道週間（6.1～6.7）園芸栽培セット等の配布 ●夏の奥多摩フラダンスショー（8.16）フラダンスと音楽、出演 アロハブアアラ小川スタジオ 正午から2回公演 ●ダム写真展（8.1～8.31）小河内ダムの四季等の写真展 ●水源地郷土芸能公演（9.8）小河内の郷土芸能（獅子舞、鹿島踊り）、午前11時～午後2時30分頃まで <p style="text-align: right;">【URL】 http://www.okutama.gr.jp/</p>					

2	檜原村郷土資料館（042-598-0880） 数馬の民家や、檜原の歴史・民俗・自然を展示。				
開館時間	4月～11月 9:30～17:00 12月～3月 10:00～16:00	休館日	火曜日（祝日の場合は翌日） 年末年始	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> ●当館では「自然と観光」「歴史と民族」の2つをテーマに景観や動植物、遺跡発掘時の出土品及び民具並びに兜式入母屋造りと呼ばれる古民家の模型などが展示されております。又、自然の移り変わり及び村の諸行事を収めたDVD「檜原歳時記」の鑑賞が常時可能となっております。 ●常設展「自然と観光」「歴史と民族」 ●特別展「夏休み昆虫標本展」(7.19～8.31) 主に檜原村内で採集された昆虫の標本448点を夏休み期間中展示する。 <p style="text-align: right;">【URL】 http://www.vill.hinohara.tokyo.jp/contents/sisetu/siryoukan/siryoukan.html</p>					

3	たましん御岳美術館（0428-78-8814） 明治・大正・昭和にいたる近代日本の美術品を展示。				
開館時間	10:00～16:30 (11月～3月は16:00まで)	休館日	月曜日（祝日の場合は翌日） 年末年始	入館料	一般500円、高大生400円 小中生300円
<ul style="list-style-type: none"> ●多摩信用金庫創立80周年記念・御岳美術館開館20周年記念展 前期（3.3～9.23） 第1展示室—倉田三郎初公開作品—油彩多摩の風景 倉田三郎記念室—倉田三郎初公開作品—旅の素描 日本を描く ●近代美術の流れ 昭和の絵画 I ●常設展示「日本近代彫刻の魁 新宿中村屋の作家たち」 出品作家：荻原守衛、中村彝、中原悌二郎、曾宮一念、高村光太郎、他 ●スケッチの日 桜の日（4.11～13）倉田三郎生誕記念日（8.18・20・21） 当日ご来館の方には、記念品をプレゼント！ <p style="text-align: right;">【URL】 http://www.tamashin.or.jp/mitake.html</p>					

4	青梅市郷土博物館（0428-23-6859） 青梅の自然や歴史、民俗、産業に関する資料を展示。				
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日（祝日の場合は翌平日） 12.29～1.3	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> ●収蔵品展「新収蔵品展2013」(4.6～5.19) 平成24年度に新たに収蔵した資料を展示・紹介します。 ●収蔵品展「青梅の木・鳥・花展（仮称）」(6.1～8.4) 青梅の豊かな自然の中から樹木、鳥、花について紹介します。 ●企画展「青梅のスポーツ展（仮）」(8.17～12.23) カヌーや青梅マラソンなど青梅のスポーツの歴史と今について紹介します。 <p style="text-align: right;">【URL】 http://www.ome-tky.ed.jp/shakai/kyodo/index.html</p>					

5	あきる野市五日市郷土館 (042-596-4069)				
	五日市の歴史・民俗・自然。五日市憲法関係資料も。				
開館時間	9:30～16:30	休館日	火、水曜日、祝日 (水曜日が祝日の場合は翌日も) 年末年始	入館料	無料
<p>●〈常設展示(一部)〉耐震化工事が終了し、4月1日から通常の開館となります。1階は、歴史・生活・民俗芸能・自然にかかわる資料や、化石などを展示しています。2階の展示室では、五日市憲法草案や黒八丈に関する資料のほか、新たに日本で初めてナイチンゲール記章に輝いた郷土の偉人「萩原タケ」に関する展示コーナーを設置しました。</p> <p>●季節展示「五月人形」「鯉のぼり」を旧市倉家住宅にて展示(4月中旬～5月末予定) 【URL】http://www.city.akiruno.tokyo.jp/contents_detail.php?co=cat&frmlid=1285&frmcid=3-4-4-0-0</p>					

6	羽村市郷土博物館 (042-558-2561)				
	羽村の歴史と文化。玉川上水と中里介山に関する資料を展示。				
開館時間	9:00～18:00(4月～9月) 9:00～17:00(10月～3月)	休館日	月曜日(祝日の場合は開館) 12.29～1.3	入館料	無料
<p>●企画展「新収蔵資料展」(3.30～6.30) 平成20年度から23年度に受け入れた収蔵品を中心に展示します。</p> <p>●季節展示「五月人形展」(4.20～5.12) 季節に合わせて、鯉のぼりと五月人形かざりを展示します。</p> <p>●季節展示「七夕かざり」(6.29～7.7) 季節に合わせて、七夕かざりを展示します。</p> <p>●企画展「(仮称)玉川上水のしくみⅢ」(7.20～12.15) 模型やパネルを使い、玉川上水の仕組みを分かりやすく紹介します。</p> <p>●季節展示「お月見かざり」(9.17～9.23)十五夜に合わせて、お月見かざりを展示します。 【URL】http://www.city.hamura.tokyo.jp/0000005474.html</p>					

7	八王子市子ども科学館(サイエンスドーム八王子)(042-624-3311)				
	プラネタリウムと基礎物理を中心とした参加体験型の展示。				
開館時間	10:00～17:00 (ただし火～金曜9:00～12:00 は団体専用で開館)	休館日	月曜日、祝日の翌日、年末年始 など(夏休み期間は無休)	入館料	大人200円、4歳～中学生100円 (プラネタリウム料金別)
<p>●プラネタリウム投影番組 「宇宙天気予報」、「宇宙兄弟」、「スペースエイジ」、「キッズプラネタリウム」(4.20～7.15)、「ポケットモンスターベストウイッシュ 光と影のテンヒュウギ」(7.20～)、「今夜の星空解説」もあります。</p> <p>●科学工作教室、科学実験ショー、かんたん工作室など(土・休日開催) 【URL】http://www.city.hachioji.tokyo.jp/kyoiku/gakushu/sciencedome/</p>					

8	八王子市郷土資料館 (042-622-8939)				
	八王子の歴史と民俗。車人形や織物の体験も。				
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日)、 祝日の翌日、年末年始、 その他館内整理日	入館料	無料
<p>●コーナー展『新収蔵コーナー展』(4.2～3.30) 高射砲の弾やたばこの自動販売機など、昨年度に市民から寄贈された資料を展示します。(※7.19～9.1は戦争関係の展示に替わります。)</p> <p>●コーナー展『八王子市の発掘成果展』(6.11～7.15)</p> <p>●コーナー展『日中戦争～青年教員の出征～』(7.19～9.1) 【URL】http://www.city.hachioji.tokyo.jp/kyoiku/rekishibunkazai/kyodoshiryokan/index.html</p>					

9	集合住宅歴史館(独立行政法人 都市再生機構 技術研究所)(042-644-3751)				
	歴史的に価値の高い集合住宅を移築復元して展示。				
開館時間	13:30～16:30	休館日	土・日曜日、祝日、年末年始 (2013年4月～)	入館料	無料 ※事前予約制
<p>●日本住宅公団昭和30年代の団地や同潤会アパートなどを移築復元。実際に住戸の中に入ってご覧いただけます。併設の研究施設も一部見学可能です。※事前予約制 予め電話かホームページで。 【URL】http://www.ur-net.go.jp/rd/</p>					

18	国立ハンセン病資料館 (042-396-2909)				
	ハンセン病に関する理解促進と偏見・差別・排除の解消を目指す。				
開館時間	9:30～16:30(入館は16:00まで)	休館日	月曜および「国民の祝日」の 翌日、年末年始、館内整理日	入館料	無料
<p>●春季企画展「一遍聖絵・極楽寺絵図にみるハンセン病患者～中世前期の患者への眼差しと処遇～」(5.11～8.11) 中世前期(鎌倉時代)にほぼ同時代を生きた一遍・忍性に関連する事跡には「癩者」のあり様について知ることができるエピソードが遺されています。一遍聖絵・極楽寺絵図をてがかりに、「癩者」へのまなざしと社会のなかでの在りようを、「けがれ」意識の広がり」に関連づけて再考します。会期中講演会と学芸員による展示解説を予定しています。 【URL】http://www.hansen-dis.jp/</p>					

19	くにたち郷土文化館 (042-576-0211)				
	国立の歴史、ハケの自然などを展示。すぐ近くには古民家も。				
開館時間	9:00～17:00 (入館は16:30まで)	休館日	第2、第4木曜日(祝日の場合 は翌日) 12.29～1.3	入館料	無料
<p>●春季企画展「くにたち あの日、あの頃～写真に見るまちの移り変わり～」(4.26～7.21)</p> <p>●共催企画展「第19回 紙の工芸展」(8.24～9.15) 紙を素材とした様々な作品を展示します。実際に作品を作る「体験教室」も実施します。</p> <p>●わら細工教室 わらぞうり作り(8月) 「くにたちの暮らしを記録する会」の指導で、素敵な草履を作る体験教室です。</p> <p>●五月人形・鯉のぼり飾り(4.18～5.14) 国立市古民家及び郷土館にて開催いたします。 【URL】http://www.kuzaidan.com/province/index.html</p>					

20	たましん歴史・美術館 (042-574-1360)				
	多摩地域の作家の作品展示や、地域の歴史資料を公開。				
開館時間	10:00～18:00 (入館は17:30まで)	休館日	月曜日、祝日 年末年始	入館料	100円 ※中学生以下無料
<p>●多摩信用金庫創立80周年記念・御岳美術館開館20周年記念展 たましんコレクション 日本の近代洋画 前期(4.9～6.9) ギャラリートーク(4.25、5.25)14:00～</p> <p>●多摩信用金庫創立80周年記念・御岳美術館開館20周年記念展 たましんコレクション 日本の近代洋画 後期(6.25～8.25) ギャラリートーク(7.6、8.1)14:00～</p> <p>●東洋古陶磁展Ⅰ(9.10～10.13) 「日本の古陶磁」ギャラリートークを予定 【URL】http://www.tamashin.or.jp/</p>					

21	パルテノン多摩歴史ミュージアム (042-375-1414)				
	多摩丘陵と多摩ニュータウンの開発の歴史を展示する。				
開館時間	10:00～18:00	休館日	不定休(4/16・17、5/21・22、 6/12・13、7/9～11、8/6～8、 9/10・11は施設点検日のため休館)	入館料	無料
<p>●特別展「多摩ニュータウン植物観察記 ～変貌する地域と花を見つめて～」(～5.20) 多摩丘陵で植物観察会が盛んな理由を、歴史的経緯や地域性の観点から探ります。 ※関連シンポジウム実施(4.20)</p> <p>●企画展①「多摩ニュータウン建設と重機 - 街をつくった働くクルマ -」(～7.8) 使用された重機(建設機械)にスポットを当て、多摩NTの開発史を探ります。</p> <p>●企画展②「変わりゆく盆踊り(仮)」(7.12～11.11) 多くの地域で夏のイベントとなっている盆踊り。その歴史や担い手の変化に注目します。</p> <p>●みんなの生きもの観察会(年3回)</p> <p>●古文書講座初級コース(5月～7月予定・全6回)</p> <p>●古文書講座特別コース「相沢五流・伴主と多摩の文人たち」(6月～7月・全6回)</p> <p>●みんなの植物観察会(4～6月、9～3月・全10回)</p> <p>●植物観察会ステップアップコース(4～6月、9～11月、1月、3月・全8回)</p> <p>●夏休みクイズラリー(7～8月) 【URL】http://www.parthenon.or.jp/museum/ 【Twitter】@par_tama_museum</p>					

10	福生市郷土資料室（042-530-1120） 考古・民俗資料から、福生の成り立ちと歩みを探る。				
開館時間	10:00～17:00	休館日	毎週月曜日 (祝日の場合は翌日休館)	入館料	無料
<p>●特別展示「新聞錦絵—^{えぼらたいぞう}頼原退蔵・^{おがたつとむ}尾形仿家旧蔵錦絵コレクション—」(2.9～4.14) 平成24年に寄贈された「頼原退蔵・尾形仿家旧蔵錦絵資料」の中から、明治時代に発行された木版錦絵と文章でニュースを伝える「新聞錦絵」を中心に紹介、展示します。</p> <p>●企画展示「福生市の成り立ちと人々のあゆみ」(4.20～6.30) 東京府移管120年を記念して、福生市のあゆみについて近現代を中心に紹介します。</p> <p>●企画展示「平和のための戦争資料展」(7.6～9月中旬) 毎年終戦の日に合わせて、福生に残された戦争関係資料から、平和について再認識することを目的とした展示を行います。</p> <p style="text-align: right;">【URL】 http://www.museum.fussa.tokyo.jp</p>					

11	瑞穂町郷土資料館（042-568-0634） 瑞穂町の歴史と民俗資料を展示。囲炉裏端の再現も。				
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日、毎月16日 (月曜日・祝日の場合は翌日 土・日曜日の場合は開館) 祝日、 12.29～1.3	入館料	無料
<p>●常設展示（通年） 瑞穂町郷土資料館では、囲炉裏端や養蚕農家の模型など、昭和30年代頃の瑞穂町の暮らしを再現し、瑞穂町の伝統工芸品である村山大島紬や多摩だるまなどの関連資料や狭山丘陵に生息する動植物、および狭山丘陵周辺の遺跡から出土した旧石器や縄文土器なども展示しています。</p> <p>●ミニ展示「端午の節句展」(4.20～5.7)</p> <p>●ミニ展示「七夕飾り展」(6.29～7.9)</p> <p style="text-align: right;">【URL】 http://www.town.mizuho.tokyo.jp/shisetsu/kyoudo.html</p>					

12	武蔵村山市立歴史民俗資料館（042-560-6620） 武蔵村山の歴史・民俗・自然を狭山丘陵と武蔵野台地の開発などを通して紹介。				
開館時間	9:00～17:00	休館日	第1月曜日、第3水曜日 (祝日の場合は翌日) 12.28～1.3	入館料	無料
<p>●年中行事展「端午の節供」(4.20～5.5)</p> <p>●企画展「(仮題)狭山丘陵南側の植物」(5.18～6.16)</p> <p>●年中行事展「七夕飾り」(6.30～7.6)</p> <p>●夏休み子ども企画展(7.20～8.31)</p> <p>●子ども体験教室(8.3)</p> <p>●星空観望会(8.17)</p> <p style="text-align: right;">【URL】 http://www.city.musashimurayama.lg.jp/shiryokan/index.html</p>					

13	立川市歴史民俗資料館（042-525-0860） 立川の歴史や文化、自然風土を展示紹介。市内幸町には茅葺きの古民家園。				
開館時間	9:00～16:30	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日)	入館料	無料
<p>●企画展「新収蔵品展」(3.17～4.14) 今年度新たに寄贈された資料の一部を展示します。</p> <p>●ミニ展示「端午の節句展」(4.6～5.6) 市内幸町の古民家でも展示します。</p> <p>●ミニ展示「七夕飾り」(7.2～7) 季節に合わせた、七夕飾りを展示します。</p> <p>●企画展「立川の遺跡2013」(7.23～9.1) 昨年度出土した資料などを紹介します。</p> <p style="text-align: right;">【URL】 http://www.city.tachikawa.lg.jp/cms-sypher/www/section/detail.jsp?id=154</p>					

14	日野市郷土資料館（042-592-0981） 日野の歴史・民俗・自然を体験できる資料館。				
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日) 12.29～1.3	入館料	無料
<p>●企画展「日野の自然 標本・写真展」(5.3～7.28 予定) 日野市内で見られる自然を、貴重植物については「日野の自然を守る会」会員の集めた押し葉標本や写真で、鳥と風景、昆虫とシダについては「七生丘陵調査団」団員の集めた標本や写真、郷土資料館が収蔵するバードカービングで紹介し、フィールド観察へと誘います。</p> <p>I 日野の貴重植物 会期中通して展示。会期中、押し葉標本の入れ替えを2回行います。</p> <p>II 日野の鳥と風景 会期前半に展示。III 日野の昆虫とシダ 会期後半に展示。</p> <p>●企画展「日野の明治・大正・昭和」(8月～11月) 明治期に新しく誕生した日野町と七生村と桑田村。昭和20年の終戦までを対象に、近代の町と村を支えた人物や産業を紹介します。</p> <p>●講座・イベント ホームページ・市広報等で随時お知らせします。</p> <p style="text-align: right;">【URL】 http://www.city.hino.tokyo.jp/museum/</p>					

15	首都大学東京 91 年館（042-677-1111） 大学所蔵の学術標本・資料、最新の研究成果を展示。				
開館時間	11:00～17:00	休館日	土～月曜日、祝日、夏季・冬季・ 春季休業期間ほか (臨時休館あり)	入館料	無料
<p>●常設展 本学内の7分野(動物系統分類学、植物系統分類学、地形・地質学、日本史学、考古学、社会人類学、芸術学)が保有する研究資料・標本類をご覧いただけます。</p> <p>●企画展「多摩のいま・むかし —八王子の山城・中野村の象—」(夏季) 首都大学東京図書館所蔵の「堀江家文書」などを取りあげ、八王子城などの中世の山城、江戸時代の庄屋の仕事や村の様子など、多摩地域で繰り広げられた歴史の一端を最新の研究成果を交えてご紹介します。 ※会期・関連企画等、詳しい情報はウェブサイト等でお知らせします。</p> <p style="text-align: right;">【URL】 http://www.comp.tmu.ac.jp/gakugei/index.html</p>					

16	東大和市立郷土博物館（042-567-4800） 東大和の歴史・民俗、狭山丘陵の自然を紹介。プラネタリウムもある。				
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日) 祝日の翌日、12.28～1.4	入館料	無料(プラネタリウムは有料)
<p>●企画展示「鳥と木の実」(～6.16) 野鳥と木の実の関係について紹介</p> <p>●ロビー展「狭山丘陵で学んだよ」(～5.6) 小学生のフィールドワークの成果を展示</p> <p>●企画展示「激動の幕末・明治期を探る」(7月末～9月)</p> <p>●プラネタリウム投影 // 春番組「はびたぶるぞ～ん」(～6.9) / こども番組「ぼくらの時間旅行」(～6.9の土・日・祝) / 夏番組(6.15～9.8) / 七夕特別投影(7.6～7)</p> <p>●その他各種講座を随時開催</p> <p style="text-align: right;">【URL】 http://www.city.higashiyamato.lg.jp</p>					

17	東村山ふるさと歴史館（042-396-3800） 「みち」をテーマに、東村山の歴史を紹介する。				
開館時間	9:30～17:00(入館は16:30まで)	休館日	月・火曜日(祝日の場合は開館し、その翌日以降の平日が休館)	入館料	無料
<p>●企画展「読む、古文書—江戸時代の東村山の生活—」(4.30～6.30) 昔の人の生活の中でつくられた文書である古文書には、いま私たちが仕事や家庭で使う書類と同じような役目を負ったものが多くあります。どう読み、どう捉えれば昔の人の生活が見えてくるのか、展示の中で体験してみませんか? 今回は江戸時代の東村山でどのような生活が営まれていたのか、農業を中心とした一年のカレンダーや、当時の楽しみを中心に、御寄贈頂いた貴重な資料から探ります。</p> <p>●企画展「地域密着型日本史—教科書から探る東村山」(7.13～9.1) 小学校・中学校で使用している歴史の教科書の視点から、地域史を掘り起こす展示を行います。社会科の授業でも参考になる東村山を中心とした地域史を資料と共に時代別に紹介。特に一般の方たちへはこの展示を通して、「もう一度学ぼう日本の歴史」として、暗記モノであった歴史の授業がいかに変化したかを現在の教科書と共に学んで頂きたいと考えています。</p> <p style="text-align: right;">【URL】 http://www.city.higashimurayama.tokyo.jp/</p> <p>◆八国山たいけんの里 東村山市野口町3-48-1 / 042-390-2161 http://172.31.16.22/tanosimi/rekishi/hachikokuyama/index.html *休館日毎週月・火曜日(祝日の場合は開館し、その翌日以降の平日が休館) 【URL】 http://172.31.16.22/tanosimi/rekishi/furusato/index.html</p>					